

2

江津市と包括的連携に関する協定を締結！

本件のポイント！

- ①江津市との協定締結により、県内全ての市との協定を締結
- ②具体的な連携の取組み『アユ養殖×食用幼虫』がスタート

①江津市との協定締結により、県内全ての市との協定を締結



▲大学HP
(協定締結先の一覧)

本学が掲げる地域・社会連携ビジョンにおいて、島根創生を目指して、「地域と一体となった協働体制を構築し、地域が真に求める課題解決など、地域目線に立った地域貢献を実施する」ことを掲げている。

じげおこしプロジェクト

島根大学では平成29年度から「島大・地域ジョイント事業～じげおこしプロジェクト」に取り組んでいます。じげおこしプロジェクトでは、包括連携協定を締結している県内の市町村毎に本学の役職員を担当者として定め、定期的に首長を訪問して直接協議することにより、首長の想いを共有し、自治体と本学がwin-winの関係で地域課題を解決することを目指しています。



▲大学HP (じげおこしPJ)

2

江津市と包括的連携に関する協定を締結！

①具体的な連携の取組み『アユ養殖×食用幼虫』がスタート

国立大学法人島根大学と江津市は8月29日（火）、包括的連携に関する協定を締結

連携・協力事項（8項目）：

まちづくり、人材育成、産業振興、地域医療の充実、保健・福祉の推進、教育・文化の振興、国際交流、その他必要な事項

▼ 江津市役所で行われた協定締結式
協定書を手にする江津市 中村市長（左）と島根大学 服部学長



最大の課題である人口減少の解決に向けて、江の川など江津の特徴を活かしながら、島根大学が持つ知的な資源を活用していきたい。（江津市 中村市長）

具体的な連携の例

江津市内にアユ種苗生産施設を持つ**江川漁業協同組合**

飼料となる幼虫の餌に江津市内で発生する学校給食の残渣を活用

食用幼虫の研究を進める**島根大学生物資源科学部**

- ・アユの成長促進と低コスト化を実現する飼料開発！
- ・持続可能で環境にやさしい、循環型の養殖を目指す！

地域が求めるニーズと大学のシーズを結び付け、真の課題解決に繋がる取り組みを目指す！

締結式後には、中村市長と服部学長による記念対談が行われました。

- ・今後5年で解決すべき課題、追求していきたいテーマ
- ・県西部出身者に地元で働きたいと思ってもらうためには
- ・大学との交流、関係づくりをどのように進めていくか

